

## 令和4年度 学校法人青池学園 若狭医療福祉専門学校 教育課程編成委員会 会議録

1. 日 時 : 令和5年3月28日(火曜日) 15:00
2. 場 所 : 若狭医療福祉専門学校 ホールB
3. 出席者 : 北村委員、田中委員、四本木委員、小林委員、増井委員(web参加)、  
西村校長、玉井事務局長、松本理学療法科主任、山崎介護福祉課主任、  
野村事務長

### 4. 教育課程編成に係る課題と方策等の意見交換(各委員から)

#### ①介護福祉科 :

- ・授業の様子をYouTube 配信しているのなら、広く知らせることも大切とだと思ふ。
- ・私の施設でも、これまで紙ベースのマニュアルだったが、動画型マニュアルを作り始めている。
- ・マニュアルがあったとしても、日本人でも把握は大変なことであり、外国人材を雇う場合は更にハードルが上がってしまうと思われる。留学生は大変苦勞していると思われる。しかし、まずは入所者に対する”敬愛”の気持ちを持ってもらうことが最重要である。
- ・国家資格取得も重要だが、無資格で施設に就職して、”やる気”を育ててから国家試験に向かっても良いのではと思ふ。
- ・キャリア形成は重要であり、資格取得だけではない。”学び続ける必要性”を身に付けてもらうことが大切だと思ふ。介護士の資格を取った次にはケアマネ資格を目指すといったようなステップアップも考えられるようになると良いと思ふ。
- ・“多職種連携”の中で介護士の分野でこそわかる部分を他に教えてもらえるようになってもらいたい。
- ・介護のカリキュラムの中で、理学療法についても学んでおり、とても良いことである。

#### ②理学療法科 :

- ・オスキーに3方向から撮影し、見ることが出来るようにしていることは素晴らしいことだと思ふ。教科書では1方向からの写真しかなく、分かりづらいが、前・横・上からの3方向だととても分かりやすい。
- ・就学年数が変わったが、基本的な部分は押さえられていると思ふ。
- ・オスキーが多くなりすぎると、なぜそれが必要なのかと言うことに気がまわらなくなるので、学生にはそこを伝えてもらいたい。
- ・近年の学生は”こんなPTになりたい”といった将来のデザインを持っている人が少ないように思える。1年後にどんなPTを目指すのかを確認すると良いと思ふ。
- ・PTが行う行為が患者にとって何のためになるかを考えられる学生を育ててもらいたい。
- ・先生自身も学生から評価される側になるのですね。この先生方への評価をどうフィードバックするかが今後の話かと思ふ。

- 多職種連携が言われているが、とても大切なことである。オンラインを活用してでも行うべきと考える。
- 機能訓練などはPTさんが必要であり、デイサービスの売りは”機能訓練”だと思っている。